



謹賀新年



2013年
巳年



新年、明けましておめでとうございます。

私は「は虫類館」にいる、ボールニシキヘビのキャサリンです。今年は「へび年」、動物園を代表して、皆さんに新年の御挨拶を申し上げます。

へびと言えば、気持ち悪い・ヌルヌルしてそうなど、悪いイメージを持たれがち。でもちょっと待って！じっくり顔を見たことある？クリっとしたつぶらな瞳で結構かわいいのよ。それに昔から一部の地域では、私たちへびが「神の使い」とされていたり、お金が欲しい人がよく白蛇のお守りを持っていたりするわよね。海外では、脱皮することから「不死」のイメージがあったり、中国では力や権威の象徴とされているの。まあ、昔から恐れられ、崇められていた動物なの。

「は虫類館」には8種類のへびたちと、カメ・ワニ・トカゲなどは虫類のほかにも、サンショウウオやカエルなどの両生類、インドオオコウモリやスローリスなどの夜行性の哺乳類もいるのよ。

そんな「は虫類館」が、『共汗でつくる新「京都市動物園構想」』に基づいて、今年の春に『ひかり・みず・みどりの熱帯動物館』としてリニューアルオープンします。たくさんの仲間たちと生活し、お客様との思い出が詰まった大切な場所がなくなっちゃうのは寂しいけど、新しい施設で皆さんとお会いできることをとても楽しみにしています。

皆さんにとっても、動物たちにとっても良い一年となりますように！



ひかり・みず・みどりの
熱帯動物館

「アフリカの草原」一部オープン

『共汗でつくる新「京都市動物園構想」』第3弾として、今春に全面オープンを予定していますが、一足先に施設の一部を公開しました！現在は、キリン・グレビーシマウマ・カバが新しい動物舎で新生活を始めています。なお、一部分のみからの観覧となり、動物が見えにくい状態ですが、御了承ください。



遊歩道



「遊歩道の下」

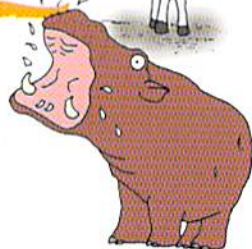


Road to Africa!!



「アフリカの草原」へ大移動!!

『共汗でつくる新「京都市動物園構想」』の第3弾として、今年の春オープンを目指し整備中の「アフリカの草原」で、新しい動物舎の一部が完成し、動物たちの入居が始まりました。グレビーシマウマとキリン、カバの引越しの様子を紹介したいと思います。引越しは、人と動物の安全のため、何度も打ち合わせと想定訓練を重ねて実施しました。



グレビーシマウマ

まずは、キララ(メス)の移動からです。輸送箱に入れ、車載のクレーンでトラックに積み込み、園の外(一般道路)を通り新シマウマ舎へ移動しました!



9月13日

輸送箱を設置!!
箱になれてもらうため、
餌を中で与える
訓練をします。

このへんな箱
なあに?



10月5日

いよいよ移動です。
キララを餌で誘い輸送箱へ
しかし…!!
箱にうまく入らなかったため、
動物の安全を考えこの日は中止
としました。残念…。



10月16日

より安全に輸送できるよう、
別の輸送箱に変えての
再チャレンジ!
なかなか入らないかな?
と思ったら5日目で入りました!



10月24日

今度は無事捕獲に成功!
新しい動物舎に移動だ~



引越し後のキララ

新しい動物舎にもなれた
キララ♪
お母さんのライラが
帰ってくるまでお留守番
よろしくね!



母親のライラは…

2012年11月6日
繁殖のために、姫路セントラルパークへ旅立ちました!
春には帰ってきます。
ちょっとの間、待っててね♡



キリン

新しいキリン舎を、旧キリン舎に隣接して建て、自分たちで歩いて、移動してもらうことにしました。

柵が…ない…。

10月12日



移動用の通路を作り、
いざ、移動開始!
さあ、みんなで移動だ!
…とはいかず、
通路が開いてもなかなか
踏み込みません。



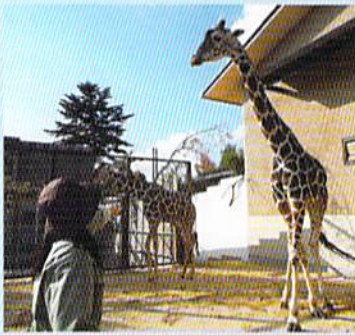
10月13日

そこで！
日頃のトレーニングを
活かして、飼育員が仮
設の新グラウンドへ誘
導。少しづつ前へ…



10月20日

最初に、新グラウンドに
入ったのは、
こどものシウン(メス)。
やっぱり若い子は
違うねー。



10月31日

続いて、キヨミズ(オス)
が入りました！
通路を越えた途端、
何事もなかったように
新しいグラウンドで
餌を食べ始めました。



11月20日

ミライ(メス)は、最後
まで入らなかったため、
みんなで追い込むこと
になりました。
飼育員たちの誘導で、無事新グラウンドに移動し、
午後には、暖かい動物舎の中に入ってくれました。

カバ



カバのツグミ(メス)の場合は、輸送箱を含めて3トンを超えるので、
グレイビーシマウマの時より大きなクレーン車で吊ってトラックに積
み込み、なれ親しんだ動物舎から新動物舎へ移動しました。



9月20日

グラウンドに
移動用の箱を設置！



10月4日

初めは箱の存在に驚いていたツグミも…
箱の中で餌を食べられるように。
箱になれたら、いよいよ移動です。



いざ移動！

←旧カバ舎からクレーンで
ツグミの入った
箱を吊り上げ…



新カバ舎へ →
無事運び込み…



雨の中の移動に… 11月26日
ツグミを餌で誘って箱の中へ～

後ろ向きに
よっこいしょ！

新カバ舎へ

よほど箱の中が気に入ったのか
なかなか出ようとしません…
そこで、水と棒で慎重に追って
新しい動物舎の中へ。
プールも気持ちよさ
そうです！



新しい動物舎はこんな感じです！



一部観覧できる
木の遊歩道から
はこんな風に見られます！

春の全面
オープンの前に
一足先に
会いに来てね！



200スポット 76

39年間お世話になりました！

今回は、この3月で動物園を退職する高井進飼育係長にスポットをあててみました。

この数年は、施設管理担当になり飼育現場から離れることが多くなりましたが、39年間の間にはいろいろなことがありました。今年、38歳になるツキノワグマの「サクラ」は、私が飼育係になった2年目の春、滋賀県の朽木村（現在の高島市朽木）で、母熊と炭焼き小屋に入っているところを保護され引取りに行きました。村役場総務課の机の足に荒縄でくくられていて、私を見つめる小さな目が今も忘れられません。まだヨチヨチ歩きで、その後しばらくは哺乳瓶でミルクを与えていました。今では高齢になり足腰が弱くなりましたが、これから整備される「京都の森」で、少しでも長く生活してくれることを願っています。

それと、今では飼育しなくなりましたが、一番担当が長かったカリフォルニアアシカにも、多くの思い出があります。一度その年生まれの赤ん坊が見つからなくなり、プールに潜って引き上げたのが、小雪のちらつく12月24日のクリスマスイブでした。排水口のカバーが外れ、吸い込まれたのが原因で、私のミスで大事な命を失ってしまったことに、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

多くの思い出が残る京都市動物園ですが、これからは、一市民として、外から応援していきたいと思います。



できごと

「バトンリレープロジェクト ～ヒトからゴリラへ～」

～ゲンタロウをゴリラとして育成する取組、いよいよ最終段階へ！～

☆今まで、人工哺育で育てたニシゴリラの赤ちゃん「ゲンタロウ」を群れに戻し、ゴリラとして育成するための「バトンリレープロジェクト～ヒトからゴリラへ～」に取り組んできました。

☆母親「ゲンキ」と父親「モモタロウ」との3頭での同居が順調に進んでいることから、**展示を再開**しました！親子3頭の様子を見に来てくださいね～

『ゲンキの胸に抱かれる
ゲンタロウ！
2012年11月12日撮影』



おめでた！



『2012年10月25日撮影』

☆チンパンジーのコイコが妊娠しました！今年2月中旬から下旬が出産予定で、当園では実に48年ぶりの赤ちゃん誕生です！
少しずつおなかの膨らみが目立ってきたコイコを、温かく見守ってください。

旅立ち

☆マンドリルの「ロマン」が、2012年11月19日に周南市徳山動物園へ旅立ちました。



安らかに

★2012年10月30日
フオキツネザルの「ハッサク」が循環・呼吸器不全のため死亡しました。



定期購読を希望される方は、80円切手4枚（1年分）を同封して京都市動物園までお申し込みください。

氏名又は名称：京都市長 門川 大作
事業所の名称：京都市動物園
事業所の所在地：京都市左京区岡崎法勝寺町126
動物取扱業の種別：展示

登録番号：070051
登録年月日：平成19年5月22日
有効期間の末日：平成29年5月21日
動物取扱責任者氏名：和田 晴太郎

KYOTO 2013 MARATHON
3月10日(日) 京都マラソン開催
大会当日はノーマイカーデー